

クマ出没の状況と対策について

1 県内におけるクマ目撃件数及びクマによる人身被害件数（別紙1参照）

	R2 1月～10月31日現在	前年同期比	(参考) R1年間合計
目撃	690	+268	450
人身被害	5	+1	4

2 被害防止のための主な取り組み状況

(1) 県民に対する注意喚起

- 市町村、報道機関に対する注意喚起要請（4月、9月、10月）
- 県政広報媒体を通じた注意喚起
 - ・ 県政ラジオ番組で注意喚起を実施（4月下旬～：YBCラジオ、FM山形）
 - ・ テレビ放送（5/24、10/25：やまがたサンデー5）
 - ・ 県庁だより（4/19、8/16、10/18）
 - ・ 県ホームページに目撃件数や出没場所、遭遇した場合の対応方法等を掲載
 - ・ SNS（みどり自然課フェイスブック等）
- 注意喚起チラシを市町村、観光協会、道の駅、自然の家等に配布（4月、9月）
(別紙2参照)

(2) 関係部局との連携対応

- 総合クマ対策推進チーム会議（4月（資料配付）、11月4日）
 - ・ 県庁及び総合支庁、警察本部の関係課が、クマの出没に対する注意喚起や市街地等における出没時の対応方針、出没事例についての対応状況を確認
- 総合支庁におけるクマ対策連絡会議
 - ・ 管内の市町村や警察署、猟友会等の関係機関による連絡会議を開催し、住民への注意喚起や市街地等への出没時の対応を確認
- 危機管理調整会議（7月17日）
 - ・ 県庁各部局における取組状況について情報交換を行い、今後の適切な対応について確認
- 人身被害を受けての対応（10月12日、30日）
 - ・ 市町村、総合支庁等に対し、人身被害防止等に係る取組みの徹底について依頼

(3) 今後の対応

- 「クマ出没注意報」の発出（11/4～12/25）（別紙3参照）
- 山形県ツキノワグマ管理計画に基づく捕獲
 - ・ 計画期首（平成29年度当初）の県内推定生息数約2,600頭を計画期末（平成33年度末）に概ね2,000頭に減少させることを目標に各年度の捕獲水準を調整
- 春季捕獲の強化
 - ・ 山形県猟友会が実施する春季捕獲を支援
- 捕獲の担い手（狩猟者）の確保・育成
 - ・ 新規狩猟者等の銃等備品購入への支援、ライフル銃購入への支援等

ツキノワグマの目撃件数の推移等

1 ツキノワグマ月別目撃件数

(R2.10.31現在)

月	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		R2とR1比較	
	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計
1			1	1		0											5	5	+5	+5
2			0			0					2						3	8	+3	+8
3			1		1	1	2	2	2	2	1	3	1	1	2	2	1	9	▲1	+7
4	10	10	7	9	6	7	9	11	11	13	15	18	19	20	11	13	9	18	▲2	+5
5	40	50	23	32	31	38	40	51	77	90	56	74	48	68	38	51	42	60	+4	+9
6	104	154	76	108	64	102	64	115	190	280	108	182	85	153	93	144	96	156	+3	+12
7	112	266	46	154	67	169	56	171	153	433	140	322	83	236	101	245	98	254	▲3	+9
8	60	326	34	188	53	222	33	204	57	490	62	384	46	282	56	301	79	333	+23	+32
9	40	366	10	198	52	274	9	213	40	530	44	428	10	292	75	376	96	429	+21	+53
10	59	425	6	204	28	302	8	221	30	560	26	454	15	307	46	422	261	690	+215	+268
11	18	443	4	208	12	314	3	224	10	570	14	468	12	319	26	448				
12	3	446	0	208		315	1	225	5	575	3	471	4	323	2	450				
計	446		208		315		225		575		471		323		450		690			

※「人的被害」及び「出没(足跡等の痕跡のみの場合)」は含まない。

2 ツキノワグマ月別人身被害件数

(R2.10.31現在)

月	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		R2とR1比較	
	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計
1																				
2																				
3																				
4									1	1			1	1						
5							1	1		1			1				1	1	+1	+1
6								1		1			1							+1
7								1		1			1	1	1				▲1	±0
8								1		1	1	1		1		1	1	2	+1	+1
9	1	1			1	1		1	1	2	1	2		1	1	2	0	2	▲1	±0
10	3	4			1	2		1		2	1	3		1	2	4	3	5	+1	+1
11	1	5				2		1		2	1	4		1		4				
12		5				2		1		2		4		1		4				
計	5		0		2		1		2		4		1		4		5			

ブナ「凶作」で秋もクマに注意!

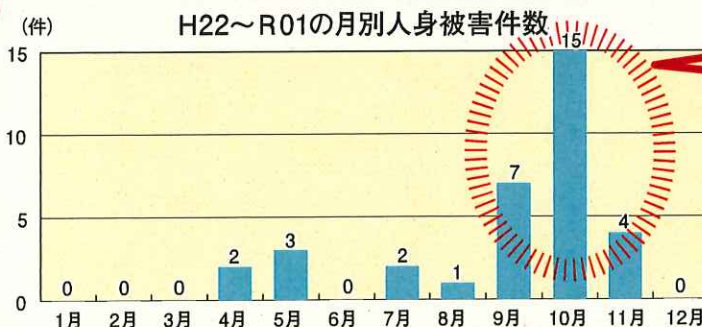
令和2年9月作成



秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽やキノコ採りなどで人とクマが出合う機会が多くなり、思わぬ事故にあう可能性もあります。

また、今年はクマの餌となるブナが凶作と見込まれており、今後もクマが出没し続けることが予想されます。さらに、県内では人身被害が過去10年間で34件発生し、その8割が9月～11月に発生しております。被害にあわないために、次のことに注意してください。

- ①クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。クマに自分の存在を知らせましょう。
 - 山や林に入るときや田畑に出るときは、ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。
- ②子連れのクマに注意してください。
 - 子グマを見たら、近くに母グマがいて、警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。
- ③万一、クマに出合ったら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退してください。(クマ撃退スプレーの使用も有効です。)
- ④餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を撤去してください。
 - また、餌付けとなる食品や生ごみを放置しないでください。



クマによる人身被害の8割が9～11月に発生しています!

被害にあう時の主な状況

- キノコ採り10件(29%)
- 自宅玄関・小屋で作業中4件(12%)
- 山菜採り4件(12%)
- 森林での作業中2件(6%)
- 散歩中2件(6%)、溪流釣り2件(6%)

【クマに関する情報】

山形クマ

検索



山形県環境エネルギー一部みどり自然課

☎023-630-2208

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷時の紙をリサイクルできます。

山形県におけるクマ出没に対する対応レベル

	状態	参考となる指標等	対応策
警報 レベル	県内で死亡事故発生	死亡事故 (1件) (直近は昭和63年)	体制：総合クマ対策推進チーム会議 対応：なお一層の厳重な警戒
注意報 レベル	県内各地で人身事故発生 (5件)	人身事故 (5件)	体制：総合クマ対策推進チーム会議 対応：厳重な警戒の呼びかけ
注意喚起 レベル	県内で人身事故発生	人身事故 (1～4件)	対応：市町村に注意喚起依頼 報道機関に注意喚起依頼

警戒呼びかけの取組み

手段	内容
ホームページ・SNS メール等による情報発信	①警戒呼びかけ ②出没・人身被害情報の発信
車両等による 広報パトロール	①自治体広報車、防災無線による呼びかけ ②警察・猟友会によるパトロール ③消防・消防団による呼びかけ
広報・学校連絡・その他	①広報誌・回覧板による情報発信 ②学校での呼びかけ、見守り活動 ③関係団体等による呼びかけ

※ 上表の対応レベルに応じ警戒呼びかけの範囲や頻度を拡大。